

岩手キリスト教学園自己評価集計表（2023年度）

〈評価判断基準〉 4段階評価

④している ③概ねしている ②一部している ①していない

I 保育の理念と方針 法人の理念に基づく保育の質の向

1. 建学の精神に基づく保育理念と方針について
2. 建学の精神に基づき主日礼拝を重んじることについて
3. 岩手キリスト教学園が定めた寄附行為や諸規則について
4. 教育課程（保育計画）及び指導計画等（月案・週案・日案その他諸提案）について

設問	1	2	3	4	平均
平均	3.2	2.4	3.2	3.5	3.07

II 保育のあり方 保育・業務、意図的・継続的・反省的な保育業務のあり方

1. 指導計画等（月案・週案・日案、その他諸提案）の作成について
2. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』に基づくキリスト教保育の理解
3. 保育の計画と実践の振り返り

設問	1	2	3	平均
平均	3.2	2.9	3.6	3.23

III 子どもへの関わり方 保育の改善や充実、人的環境について

1. 保育者は、子どもがその環境に気づき、主体的・意欲的に関わることができるように、保育環境をはじめ、教材や遊具の整備状況を常に点検し、清潔に整理整頓し、適切な遊具等が用意されるよう努めている。
2. 子どもが季節の変化を十分に感じることができるよう環境設定に努めている。
3. それぞれの子どもについて共通理解をもって保育に当たっている。特に配慮を要する子どもについては、教職員間で語り合って対応するようにしている。
4. 聖書の物語や絵本・紙芝居など教材を活用して、保育者と子ども、また子ども同士で分かち合うようにしている。
5. 教職員として品位のある言葉づかいや、声のトーンを意識し子どもたちや職員間で互いの人格を大切にするようにしている。
6. 表面的な出来不出来によって子どもを評定したり、「この子はいつもこうだ」といった決めつけをしたりせず、子どもの心の動きや育ちを捉えようと丁寧に観察し理解

するように留意している。

7. 他の保育者や保護者が子どもの様子などについて話すことを丁寧に聞き、多面的に理解する視点を大切にしている。

8. 子どもの家庭での状況について教職員間で共通理解を図るよう努めている。

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	平均
平均	3.3	3.3	3.6	2.9	3.7	3.7	3.8	3.8	3.51

IV 健康・安全への配慮

子どもの健やかな育ちに資する安全の確保と向上

1. 緊急時の連絡体制および危機管理体制の中で、万一事故や災害が発生した場合、自分の役割を理解している。
2. 子どもが園で急に病気や怪我をした場合、速やかに園長や管理職者に報告し指示を仰ぐようにしている。またその処置を記録している。
3. 保護者への連絡が必要な場合は、園としての連絡方法を理解している。
4. 避難訓練および不審者対策には、安全を考慮して非常時への備えをしている。
5. 季節に応じ手洗い、うがい、衣服の着脱など、自分でやろうとする子どもの気持ちを大切にしながら、健康・衛生面に配慮している。
6. 常に園に危険な場所はないか、危険な遊びはしていないか等、ヒヤリハットを意識している。
7. 子どものアレルギーや健康状態について確認、対応を行っている。
8. 一人一人の生活のリズムや発育段階に併せて休憩、休息、睡眠がとれるように配慮している。

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	平均
平均	3.3	3.6	3.8	3.7	3.9	3.7	3.9	3.7	3.7

V 保護者や地域との関わり

関係者(保護者等)と理解の共有・連携の促進

1. 園のしおり(要項)の内容や保育計画、年主題・月主題を理解し保護者にわかりやすく伝えることができる
2. 個々の子どもについて、保護者の思いを傾聴し、丁寧に対話する中で、園や保育者の考えを伝え、協力を得られるよう努めている。
3. 子どもの健康状態(健康診断)や衛生状況(流行性疾患など)を保護者に出来るだけ速やかに情報提供するようにしている。
4. 保護者からの意見や要望・苦情等に対しては、速やかに園長や主任に報告し相談するなどして適切に対処している。また、それらを記録している。
5. 子どもや保護者の個人情報については、学園の「個人情報管理規程」にしたがって適切に対処している。
6. 園が置かれている地域の状況を把握するように努めている。
7. 自治体の療育・保育等専門機関との連携の必要性を理解している。
8. 「保護者への子育て支援」という役割を意識し、成長や子どもを育てる喜びが共有できるように配慮している。

設問	1	2	3	4	5	6	7	8	平均
----	---	---	---	---	---	---	---	---	----

平均	3.0	3.4	3.7	3.8	3.9	3.6	3.6	3.6	3.57
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

VI 職員の専門性

現在を生きると共に、未来に向けて育っていく子どもたちに、広い視野をもって関わっていくために。

1. キリスト教保育をはじめ諸研修会に努めて参加し、その報告をしている。
2. 保育・養育、業務について、常に自己課題をもって研鑽に努めている。
3. 日々の業務や打ち合わせ、職員会議等で諸課題を共有し、それらの解決に取り組む姿勢をもつよう努めている。
4. わが国の幼児教育や保育制度の動きに常に関心をもち、時代に即した子ども主体の保育について理解に努めている。

設問	1	2	3	4	平均
平均	2.9	3.4	3.5	3.4	3.3